

先輩のわくわく教室

神谷小学校では、地域の方を招いての会を度々開催しています。その中の一つに「先輩のわくわく教室」があります。「地域の方々との交流を通して、生きた知恵を学ぶとともに、思いやりの心を育てる」をねらいとして、児童の希望をもとに活動内容を決めています。

今年は、2月20日(火)13時から15時半まで、たこ作り、木工細工、和紙作り、ペタンク、川柳、昔遊び(あやとり・おはじき・おじゃみ)の6つの教室を開催しました。当日は、地域の先輩13名が先生になって、それぞれの教室で作り方や遊び方を分かりやすく教えてくださいました。

最後には、できあがった作品を持って体育館に集まり、地域の先輩全員との交流もしました。様々な活動を通して、地域の方に感謝する気持ちを持つことができました。

児童の感想

- ぼくは、紙でたこあげできるかな?とっていたけど、てきばきと指導してくれてうれしかったです。最後に曲げると、いちだんとたくましく絵が目立つようになりました。それは全部、片岡先生が教えてくれたからだと思います。今まで知らなかったことが習えてうれしいです。紙でたこを作れて、初めて体験できました。曲げると折れそうで、こわかったです。飛べそうにないゆるゆるが、ちゃんと飛べてうれしかったです。家へ帰って、お兄ちゃんにやらしてあげたいです。
- 紙すきは、今日が二回目でしたが、初めてのように、「わくわく教室」の名前のようにわくわくしました。紙すきのポイントや、コウゾのことなど、尾崎先生が教えてくださったことが頭に残っています。私が一番面白いと思ったのは、木づちでコウゾをたたくところも面白いと思ったのですが、やっぱり紙をすくところです。始めはとても下手で、自分もあきれくらいだったものが、もう一度やってみると、尾崎先生のアドバイスのおかげもあって、少し上手になったと思いました。花を入れる作業は、とても時間をとってしまって、迷惑がかかったと思いますが、とても納得できる作品になったと思います。思い出に残る「先輩のわくわく教室」でした。また機会があれば、紙すきに挑戦したいです。

